

計議第 3 5 5 号議案 参考資料 2

計議第 3 5 5 号議案 京都都市計画（京都国際文化観光都市建設計画）
公園の変更（京都市決定）
（3・3・57号 東吉祥院公園）

目
次

P. 1 ～ 計議第 3 5 5 号議案 意見書の要旨

都市計画の案に対する意見書要旨

計議第355号議案 京都都市計画（京都国際文化観光都市建設計画）
公園の変更（京都市決定）
（3・3・57号 東吉祥院公園）

縦覧期間 令和6年2月1日から令和6年2月16日まで
意見書数 683通
意見件数 2,161件

都市計画の案に対する意見種別の集計表

意見の種別	意見の内容	意見件数
都市計画変更について	<ul style="list-style-type: none"> 給食センターのための都市計画変更（廃止）に反対します。 戦時中の都市計画を持ち出して防空緑地として整備されたものだから公園として残す必要はない、というのはあまりにもこじ付けの暴論です。 	45
公園の廃止について	<ul style="list-style-type: none"> 給食センター建設のための公園廃止は反対です。 	350
	<ul style="list-style-type: none"> 京都市は全国の大都市に比べても一人当たりの都市公園面積が狭いと言われている。 人口に対する公園の面積・数が充分だとは全く言えない 市内にはボールを使用できる公園は少ないです。 	139
	<ul style="list-style-type: none"> 塔南高校が移転したのであれば、本来の公園に戻すべきだと思います。 もとの都市公園に戻して広く市民が使えるようにしてください。 まず公園に戻したうえで、今後の活用方向について、市民的な議論を経て決めるべきだと思います。 	139
	<ul style="list-style-type: none"> 地震や水害に対応できるスペースとして公園を残すべきだと考えます。 公園は災害時の避難場所として大切です。 能登半島地震のことを考えても、市民の安心安全のために防災拠点としての活用を検討してほしい。 	108

意見の種別	意見の内容	意見 件数
公園の廃止について	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに対するニーズは増大し、かつ多様化しており、市全体で総合的に勘案したときに利用ニーズに対応しているとは言えない。 ・スポーツの場や機会はもっと拡大されて然るべきである。 ・少年野球の指導者や保護者は常にグラウンド確保に悩まれており「野球のできる公園」は本当に貴重です。 	1 3
	<ul style="list-style-type: none"> ・代替公園を4箇所挙げられましたが、3か所は吉祥院から遠く離れていて代替にはなりません。 ・代替公園が遠く離れていては意味がない。 ・一体誰が、休憩や防災上、伏見の「代替」公園まで行くのか。「代わるべき」公園たり得ない。 	1 0
	<ul style="list-style-type: none"> ・地元のことを地元抜きに決めないでください。 ・拙速に進める事案ではない。 ・公園の権限がない教育委員会により説明会が行われたため、公園廃止の意思決定に手続き上の瑕疵があると考えます。 	3 1
	小 計	7 9 0
給食センターについて	<ul style="list-style-type: none"> ・巨大給食センターを建設することに反対します。 ・給食センターを作ることは本当に子供のためになるのでしょうか。 	1 8 3
	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺道路は狭隘で、毎日給食を運ぶ車が大量に通行すると安全上も問題が発生する。 ・京都のような観光地では観光シーズン大渋滞が発生する。 ・配送トラックが増えて地域の交通安全や環境に影響が出る。 	8 0
	<ul style="list-style-type: none"> ・運搬車等による通学児童の安全について危惧される。 ・子供たちの交通安全面も大変不安です。 ・子供たちが事故にあう可能性は当然のことながら高まります。 	7 2
	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の住環境全般への影響が総合的に検討されなければならない。 ・公園と給食センターでは、地域に落とす影響は比べ物にならないくらい大きく悪くなります。 ・周辺住民への環境の変化による影響について十分な配慮がなされているのか懸念します。 	3 9

意見の種別	意見の内容	意見 件数
給食センターについて	<ul style="list-style-type: none"> ・塔南高校グラウンドは、ハザードマップで3.5mまで浸水する危険が想定される場所。地震や水害で給食がストップした事例（福知山市）もあることを考慮すべきです。 ・ハザードマップで3.5mの浸水リスクもあるところにわざわざ建てる必要がありますか？ ・建設予定地は浸水区域（想定浸水深3.5m）。近年、自然災害が激甚化、頻発しています。 	26
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が望んでいるのは巨大給食センターではなく自校調理の給食です。 ・小学校のように自校で調理員さんに手作りしてもらえる温かい給食を望んでいます。 ・近くの小学校との連携で行う親子方式といわれる方法も含めて実施して欲しいと思います。 	327
	<ul style="list-style-type: none"> ・全市の中学生分を1箇所調理するというのは無理があるのではと思います。 ・1箇所のセンターで大量調理することは、食中毒のリスクがある。またアレルギーなど細やかな対応もできない。 ・リスク管理は分散が基本です。 	260
	<ul style="list-style-type: none"> ・給食センター方式だと2時間以内の喫食ができないのではないかな。 ・京都市内は観光シーズンを中心に交通渋滞があり、定められた時間内に全ての中学校に確実に配送される保証がない。 ・交通渋滞で給食が遅れることはあってはならないことです。 	96
	<ul style="list-style-type: none"> ・食育や教育的な観点からも給食センターではなく自校調理とするべきである。 ・26,000食をエサのように作られた食べ物で果たして心や体が育つでしょうか。 ・食育を一番に考えた将来設計を子供たちにして欲しい。 	127
	<ul style="list-style-type: none"> ・巨大給食センターの調理員や配送ドライバーを確保できるのか。 ・物流の人手不足は深刻。 ・トラック労働者不足が深刻となる2024年問題がある中、ずさんな報告です。 	13

意見の種別	意見の内容	意見 件数
給食センターについて	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に各中学校に給食用調理室があればとても大きな力を発揮するはずです。 ・中学校に調理室を設置すれば、防災拠点として温かい炊き出しも可能になります。 ・能登半島地震の教訓からも、各地域の学校で給食が作れる環境は災害時にも役立つ。 	57
	<ul style="list-style-type: none"> ・市会で「留保」となっている請願が複数ある。 ・議会等を軽視しているのではないですか。 	14
	<ul style="list-style-type: none"> ・初期費用だけで比べるのではなく、ランニングコストや防災の際の運用も考えるべきです。 ・コスト面重視の計画となっている。 ・多額の費用でわざわざつくるのは反対です。 	12
	小 計	1,306
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費が安い方がいいです。 ・公園の地下に避難物資等が入るようにして下さい。 ・大型公共工事ではなく、各地域地元の建設業者優先の行政を行って下さい。 ・中学校に給食調理場を建てる工事なら京都の事業者で建てられますが、ハコモノはゼネコンに仕事がいくだけです。京都の事業者は下請けで単価がたたかれ、京都経済が潤いません。 ・工場建設費の上振れが心配である。 ・給食センター建設は大規模工事となり、必ずしも京都市内府下の事業所がその建設工事を請け負う保証も有りません。京都市内・府下の事業所に発注する事が地元経済の活性化・巡り巡って京都府市の財政再建にも貢献すると考えますがいかがでしょうか。 ・地元の協力を得て、地元の「業者」で設備し、その地元の「材料」を使って給食を望む。 ・地産地消で京都の農業支援を。 	20
合 計		2,161

注：意見件数は、意見の種別ごとに当該種別の意見の件数を集計したものであり、1通の意見書の中に複数の種別の意見がある場合には、重複するため意見書数と異なる。

都市計画の案に対する参考意見要旨

参考意見書数 43通
参考意見件数 45件

上記45件の意見については、住所と氏名が未記載もしくは受付期間を過ぎて提出されたものであるため、参考意見として取り扱う。

意見の種別	意見の内容	意見件数
都市計画変更について	・給食センターのための都市計画変更（廃止）に反対します。	1
公園の廃止について	・給食センター建設のための公園廃止は反対です。	5
	・京都市は市民が憩える公園、緑地が他都市に比べて少ない。	2
	・公園として存続することを望む。	3
	小 計	10
給食センターについて	・巨大給食センターを建設することに反対します。	4
	・昼食に合わせて配送車が一齐に動くと思うますか。	4
	・通学路、保育園の散歩コースにあたる周辺道路への影響が心配。	1
	・自校調理にて一人一人にあう温かいものを提供してください。	6
	・アレルギー対応が必要な子には、丁寧な対応が必要です。	8
	・食中毒のリスクや衛生面を配慮しているのか。	
	・作って2時間以内に届けることができるのか。	4
	・食育の観点からも調理の仕事や食材を目の当たりにできる貴重な学びの機会となる。	3
	・中学校に調理場があることで災害時でのメリット（避難場としての）も大きくあるように思えます。	1
	・コスト重視の巨大給食工場なんて不安しかありません。	2
小 計	33	
その他	・身近な地域で地域の農産物も使い、地域の人材の雇用もできる給食を実施してほしい。	1
合 計		45

注：意見件数は、意見の種別ごとに当該種別の意見の件数を集計したものであり、1通の意見書の中に複数の種別の意見がある場合には、重複するため意見書数と異なる。